



平成20年3月10日

各位

会社名 住友重機械工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村吉伸
コード番号 6302
問合せ先 IR広報室長 大島秀夫
TEL 03-6737-2333

米国の半導体製造装置メーカー、アクセリス・テクノロジーズ社

に対する買収提案価格の修正に関するお知らせ

住友重機械工業株式会社は、マイノリティ株主として参加する TPG と共同で、アクセリス・テクノロジーズ社（以下「アクセリス」といいます）に対する買収提案を修正し、買収価格を一株につき現金 5.20 ドルから 6.00 ドルに引き上げることといたしました。この修正提案は、アクセリスを総額 630 百万ドルと評価し、アクセリス買収提案をはじめて公表した日の前取引日である 2008 年 2 月 8 日の終値（4.04 ドル）に対し 48.5%のプレミアムを付与したものです。この修正提案にあたり、代表取締役会長である日納義郎名でアクセリスの取締役会の各メンバー宛にレターを送付しました。下記はこのレターの抄訳です。

記

（アクセリス取締役会メンバー宛レター抄訳）

弊社は、貴社取締役会が弊社の 2 月 4 日の貴社買収提案を拒絶し、統合に関しての意味のある話し合いを行うために会談することも拒否したことを非常に残念に思っております。過去数週間にわたり、弊社は、発行済株式の過半数を構成する一部の貴社株主と非常に建設的な話し合いを行いました。

貴社株主との対話に基づき、弊社は買収提案価格を一株現金 6.00 ドル、総額 630 百万ドルへ増額します。この修正提案は、弊社が最初の提案を公表した日の前取引日である 2 月 8 日の貴社株式の終値 4.04 ドルに対し、48.5%のプレミアムを加えたものであり、過去の半導体製造装置業界における同様な取引のプレミアムを超えるものです。弊社は、これは十分かつ公正な価格であり、今回の提案では、貴社が単独で達成できる以上の、より大きな価値を貴社株主にただちに与えることができる、またとない機会であると確信しています。

弊社は買収価格を再度増額するつもりはありません。弊社は、貴社、SEN、弊社を早期に統合することが、貴社と貴社の株主、従業員および顧客を含む全ての関係者にとっての最

大の利益になると強く信じており、そのために弊社の提案を修正しました。

以前にも述べたとおり、弊社の提案は資金調達を条件としておりません。弊社は、貴社とただちに契約の交渉に入り、この種の取引に一般的な、確認のためのデューデリジェンス（会計記録のレビュー、事業計画、貴社のイオン注入装置「Optima（オプティマ）」関連を中心とする）を実施する用意があります。弊社は、本件取引に対する関連当局の承認を、最終契約の合意後ただちに取得できるものと予想しています。

貴社、弊社、SENの3社を統合すれば、技術的な強みを集約でき、さらなる投資が可能となり、半導体イオン注入装置市場において主導的な地位を取り戻すことができるでしょう。TPGは半導体産業で優れた実績をもつ世界的な投資会社であり、今回の買収で少数株主たる共同投資家かつ資金提供者として関与することになりますが、TPGと協働することにより、3社を統合した企業はさらに利益を得ることができるでしょう。統合後の企業は、このような統合のメリットを享受することで、従業員にとっては良好な労働環境を提供し、顧客にとってはより良い事業パートナーになることができます。

弊社の提案は公開情報に基づいており、法的拘束力を持たず、最終契約の締結を条件としたものです。弊社は、貴社がただちに弊社と会談するとともに、弊社がすぐにデューデリジェンスを開始し、同時に最終契約の交渉に入ることを承認するよう促すものです。

弊社は、貴社の株主の声に耳を傾け、それに応えました。貴社も同様に行動することを期待します。

以 上